



みんなで考えよう！みんなでそなえよう！自ら命をまもるため。

# 手づくりハザードマップ作成手引き（参加者用）vol.2

1日目（勉強会・まち歩き準備）

2日目（マップ仕上げ・カード作成）

手づくりハザードマップ作成の本日のながれです。

## ■手づくりハザードマップの作成の目的

手づくりハザードマップは、地域のみなさまが、お住まいの地域の水害の危険性について“気づき”正しく“理解”し、いざというときに的確な“判断”ができるように取り組む過程によって、個々の力となるとともに、地域コミュニティの活性化を図るものです。

まず半日集まって勉強会を行い、各自でまち歩きを行い、最後に半日集まってマップづくりを行います。

## ★これまでの活動履歴。

1日目 みんなで

STEP1 地域で起こり得る水害について知ろう！

## ●水害ハザードマップに対する理解を深め、過去の水害などから勉強しましょう。

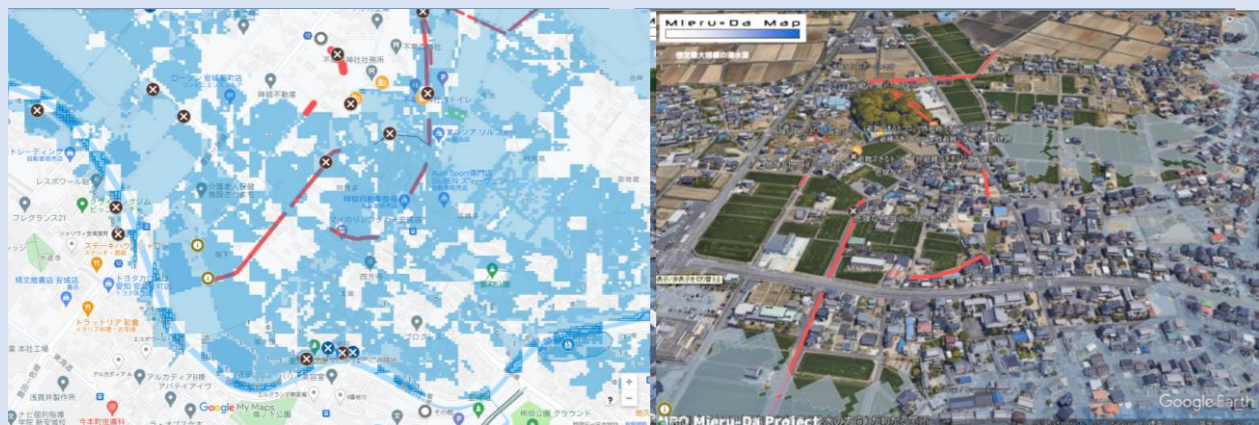
★住んでいる地域の近くで流れる川がはん濫した際の、予測される最大の水深や地域の避難所などが分かります。



STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

1か月 それぞれ

## ●3D水害ハザードマップを見て、浸水の状況を具体的にイメージしよう。



ダウンロード、確認方法はこちらから。スマホでもできます！



## ●まち歩きでの確認・発見を、撮影して投稿しよう。

★まち歩きで確認した・発見したこと、普段から気になっていること、昔からの言い伝えなど、投稿しました。

まとめサイトはこちら。



2日目 みんなで

STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

ワークショップ（約40分）



### A 手づくりハザードマップの記載内容の確認

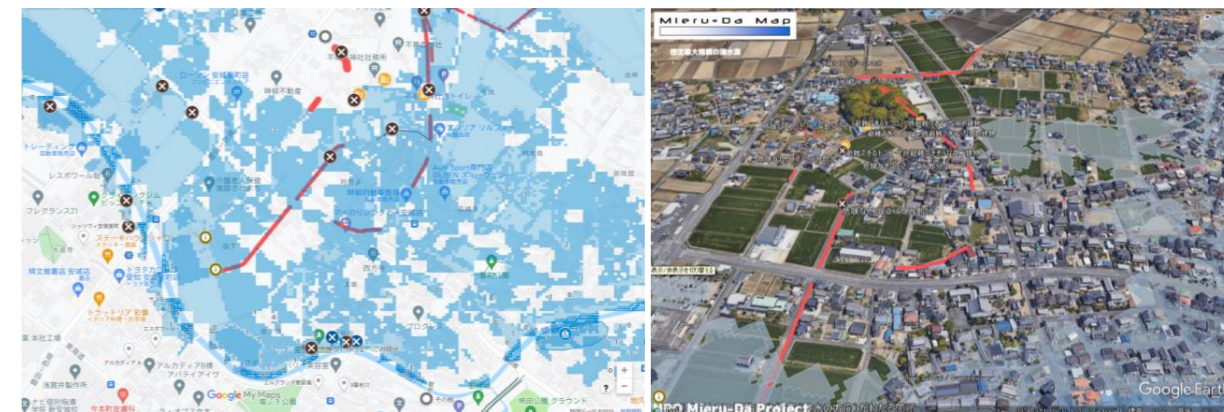
...5分

★みんなが撮影したデータ、マップをみんなで確認します。 ※Bと同時にいきます。

### B 地図にコメントの確認（ふりかえり）

...5分

★みんなが撮影時にコメントデータをみんなで確認します。 ※Aと同時にいきます。



カード作成（約45分）



### C 作業結果の発表会（5ブロック。3～4分）

...20分

★東大道、野池、道東、道西、東山のブロックごとに発表し、地域で情報共有します。

### D 手づくりハザードマップの活用方法

...10分

★各戸に配布したり、地域の寄り合い所に貼り出したりと、手づくりハザードマップを地域で活用する方法について、町内会から報告します。

### E 勉強会「過去の水害事例」 ※安城市さんが説明。

...20分

★DVD「命を守る河川水位情報」をみんなで見ます。事前に避難のタイミングを考えておくことの重要性を学びます。

### F 勉強会「災害避難カードの作成に向けて」

...10分

※安城市さんが説明。

★自宅の水害危険性を知り、避難の必要性を理解するとともに、いつ避難を開始すれば良いか、雨量・雨域と河川水位情報の関係、水位観測所の位置や確認方法、水位情報と避難情報の関連、みずプロメールなどについて学習することを通じて、一人ひとりが考えます。

### G 災害避難カード作成フォームへの入力

...15分

★勉強会で学んだことを基に、一人ひとりで災害避難カードの作成フォームに入力します。入力が終わったら、メールアドレスに災害避難カードが送付されます！

意見交換（約10分）



### H 意見交換（ふりかえり、アンケート）

★これまでの2日間のワークショップをふまえ、大雨のときにどんな行動をすればよいか、避難のタイミングはどうしたらよいかなど、自分や地域が取るべき行動を改めて考えます。

## ■最後に

本日までの手づくりハザードマップ作成、本当にお疲れさまでした！手づくりハザードマップに関するアンケートに、是非ご協力ください。



みんなで考えよう！みんなでそなえよう！自ら命をまもるため。

# 2日目の手順を詳しく見てみよう！

1日目（勉強会・まち歩き準備）

2日目（マップ仕上げ・カード作成）

## 災害避難カード

### 12月11日 2日目のワークショップの流れです。

2日目 みんなで

STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

#### A 手づくりハザードマップの記載内容の確認 ※Bと同時にいきます。

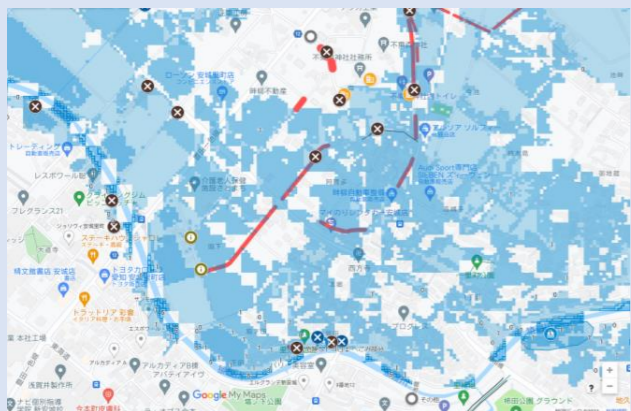
★みんなが撮影したデータ、マップをみんなで確認します。

#### B 地図にコメントの確認（ふりかえり） ※Aと同時にいきます。

★みんなが撮影時にコメントデータをみんなで確認します。

#### C 作業結果の発表会（5ブロック。3～4分）

★東大道、野池、道東、道西、東山のブロックごとに発表し、地域で情報共有します。



ブロックごとに、自分の住む地域のマップから読み取れること、感じたことを発表してもらいます。



#### D 手づくりハザードマップの活用方法

★各戸に配布したり、地域の寄り合い所に貼り出したりと、手づくりハザードマップを地域で活用する方法について、町内会から報告します。

必要に応じてメモを。

#### E 勉強会「過去の水害事例」 ※安城市さんが説明。

★DVD「命を守る河川水位情報」をみんなで見ます。事前に避難のタイミングを考えておくことの重要性を学びます。

#### F 勉強会「災害避難カードの作成に向けて」 ※安城市さんが説明。

★自宅の水害危険性を知り、避難の必要性を理解するとともに、いつ避難を開始すれば良いか、雨量・雨域と河川水位情報の関係、水位観測所の位置や確認方法、水位情報と避難情報の関連、みずプロメールなどについて学習することを通じて、一人ひとりが考えます。

#### G 災害避難カード作成フォームへの入力

★勉強会で学んだことを基に、一人ひとりで災害避難カードの作成フォームに入力します。入力が終わったら、メールアドレスに災害避難カードが送付されます！



#### H 意見交換（ふりかえり、アンケート）

★（ふりかえり）これまでの2日間のワークショップをふまえて、大雨のときにどんな行動をすればよいか、避難のタイミングはどうしたらよいかなど、自分や地域が取るべき行動を改めて考えます。

必要に応じてメモを。

★（アンケート）最後に、アンケートフォームでアンケートにお答えいただきます。



#### ☆さいごに

町内会長からの挨拶をもって、手づくりハザードマップのワークショップは終了！

1か月 それぞれ

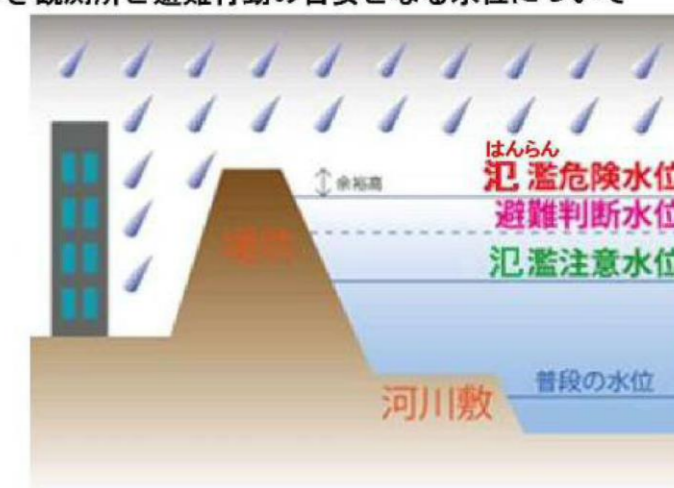
STEP2 水害をジブンゴトにしよう！

住所		作成者	
階数・構造	自宅の階数（ ）階建 木造・コンクリート造・（ ）		
避難所の名称と住所	名称（ ） 住所（ ）		
自宅周辺地形から見た浸水危険度	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし		
避難経路から見た洪水の危険度 （避難経路上で水たまりになりやすい箇所）	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし ( )		
川の決壊による洪水の危険度	高い ・ やや高い ・ やや低い ・ 低い ・ なし		
洪水時家屋倒壊危険地域*	内 ・ 外		
大雨のときに確認する気象情報	気象情報は、		で確認する

※洪水時に家屋倒壊等のおそれがある区域（想定最大規模（L2）の浸水想定区域図等で確認）

#### ■近くの川の決壊が懸念されるときに、見るべき観測所と避難行動の目安となる水位について

河川名	矢作 川	(参考) 猿渡川
水位観測所名	岩津	井畑橋
決壊による 自宅の浸水深	m	m
はんらん 氾濫危険水位	8.50 m	m
避難判断水位	7.80 m	m
はんらん 氾濫注意水位	4.90 m	-0.93 m
普段の水位	-1.10 m	m



#### （水位の取得方法）

テレビdボタン	NHK、メーテレの2局から利用可能です
WEB	愛知県・国土交通省の「川の防災情報」から利用可能です。“川の防災情報”で検索
メールサービス	愛知県や市町村独自のメールサービスを利用ください
ライブカメラ	国土交通省「川の防災情報」にて「天神橋 付近」のカメラ画像をみることができます 「川の防災情報」にて「 付近」のカメラ画像をみることができます

#### ■大雨の時に見るべき雨量観測所について

○家の近くの雨量観測所 ⇒（北部公民館）

※家の周辺だけでなく上流部の雨量にも注意してください。

○気象庁の「大雨注意報」は時間雨量 20～30mm が基準となっており、浸水や土砂災害の恐れがあります。

#### ■大雨の時に見るべき気象情報について（リアルタイムの雨雲レーダー）

○川の上流部では水位の上昇が非常に速いことがあるので、雨雲の状況を、テレビのデジタル放送（dボタン）、Web ページ（気象庁、国土交通省、愛知県など）、スマートフォンのアプリなどで確認しましょう。

#### ■避難行動の留意点

- ☑周りで浸水が始まっている場合や逃げ遅れた場合は、無理に避難せず2階等の安全な場所へ移動してください。
- ☑堤防近くにお住まいの方は、堤防が壊れた場合に家屋が倒壊する可能性もありますので早めの避難が必要です。（メモ）